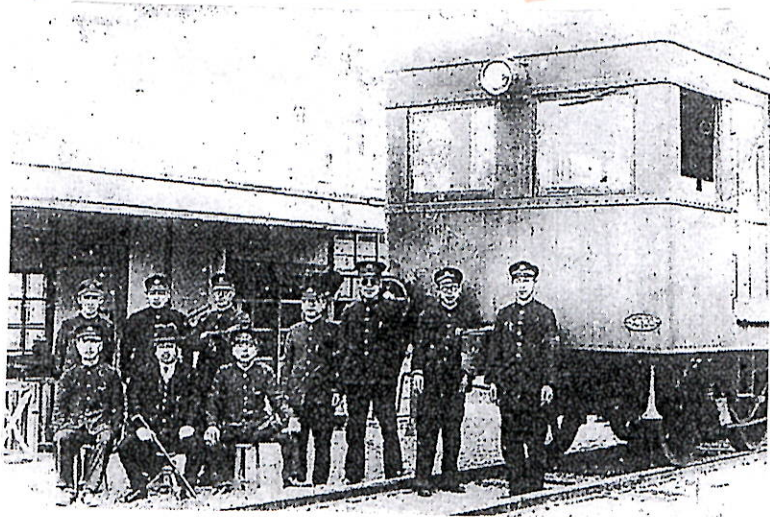


水戸電気鉄道の旅



水戸市立吉田小学校

五年一組 綿引愛花

<目次>

1. 研究したわけ… P.2
2. 研究の進め方… P.2
3. 研究したこと… P.2～
4. 研究して分かったこと(まとめ)… P.10
5. 研究した感想… P.10

1. 研究したわけ

吉田小学校のうらに、昔電車が通っていたあとがあると聞いたことがある。吉田小学校は、私が通っている学校で、そんな近くに電車が走っていたの？と気になり調べてみることにした。

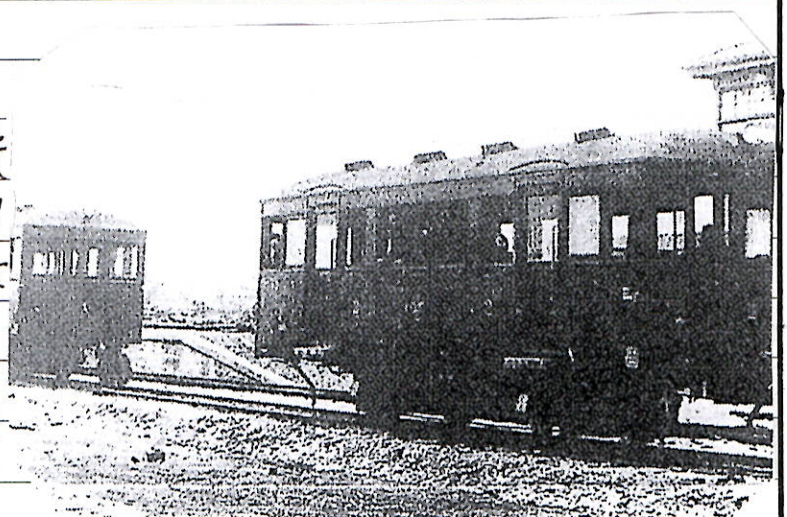
2. 研究の進め方

本や地図、インターネットで、水戸電気鉄道が通っていたところや駅などを調べて実際に行ってみた。

3. 研究したこと

◎水戸電気鉄道

レールは1067ミリで国鉄と同じ広幅軌動の本格的な鉄道。ボギー車とよばれた8輪のがソリン動車で定員60名68馬力。当初、セ工線は水戸市から東茨城郡竹原村(現 小美玉市)までを

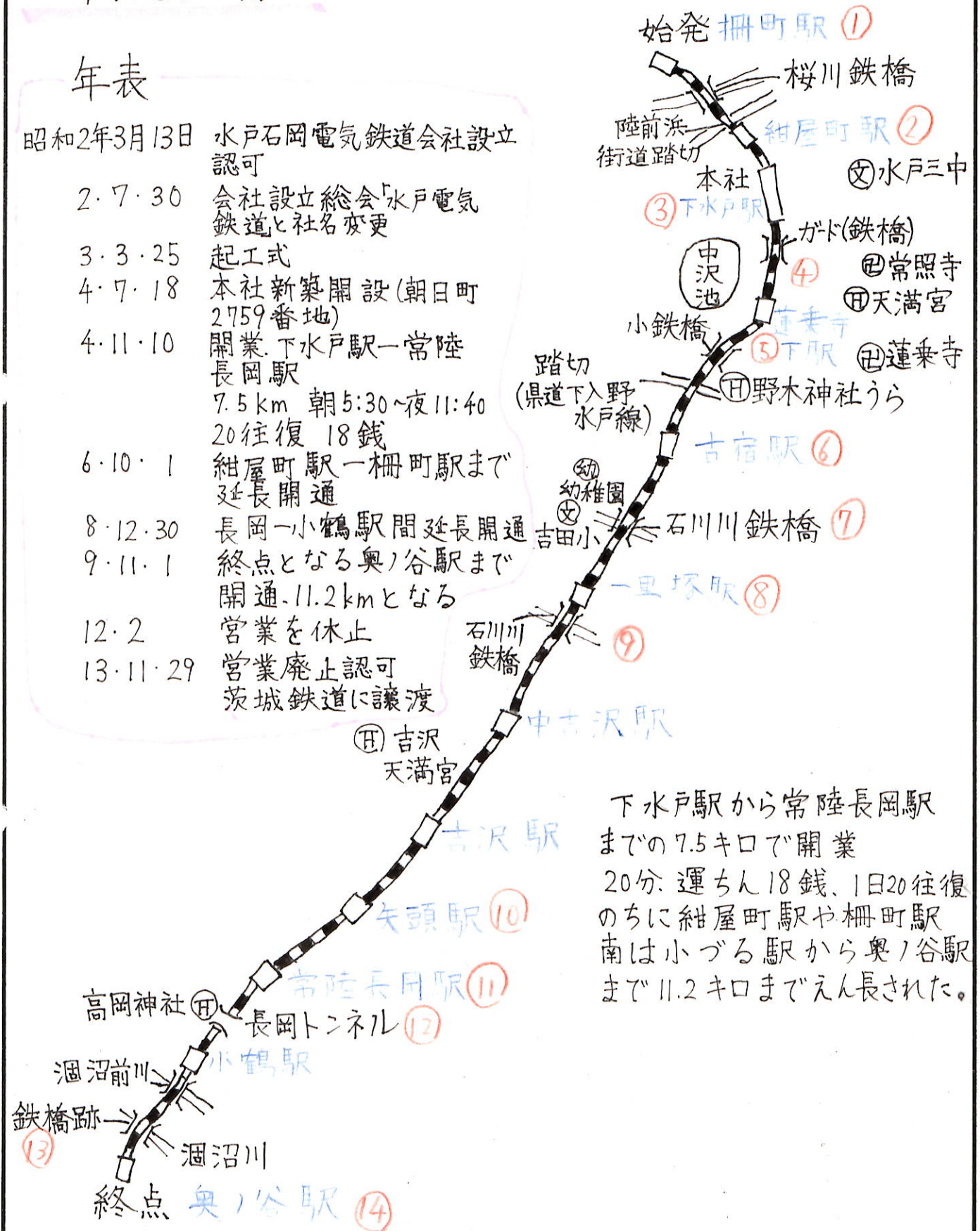


直流電化路線として電気鉄道を建設する計画だったが最後まで電化されることはなかった。

◎年表と路線図

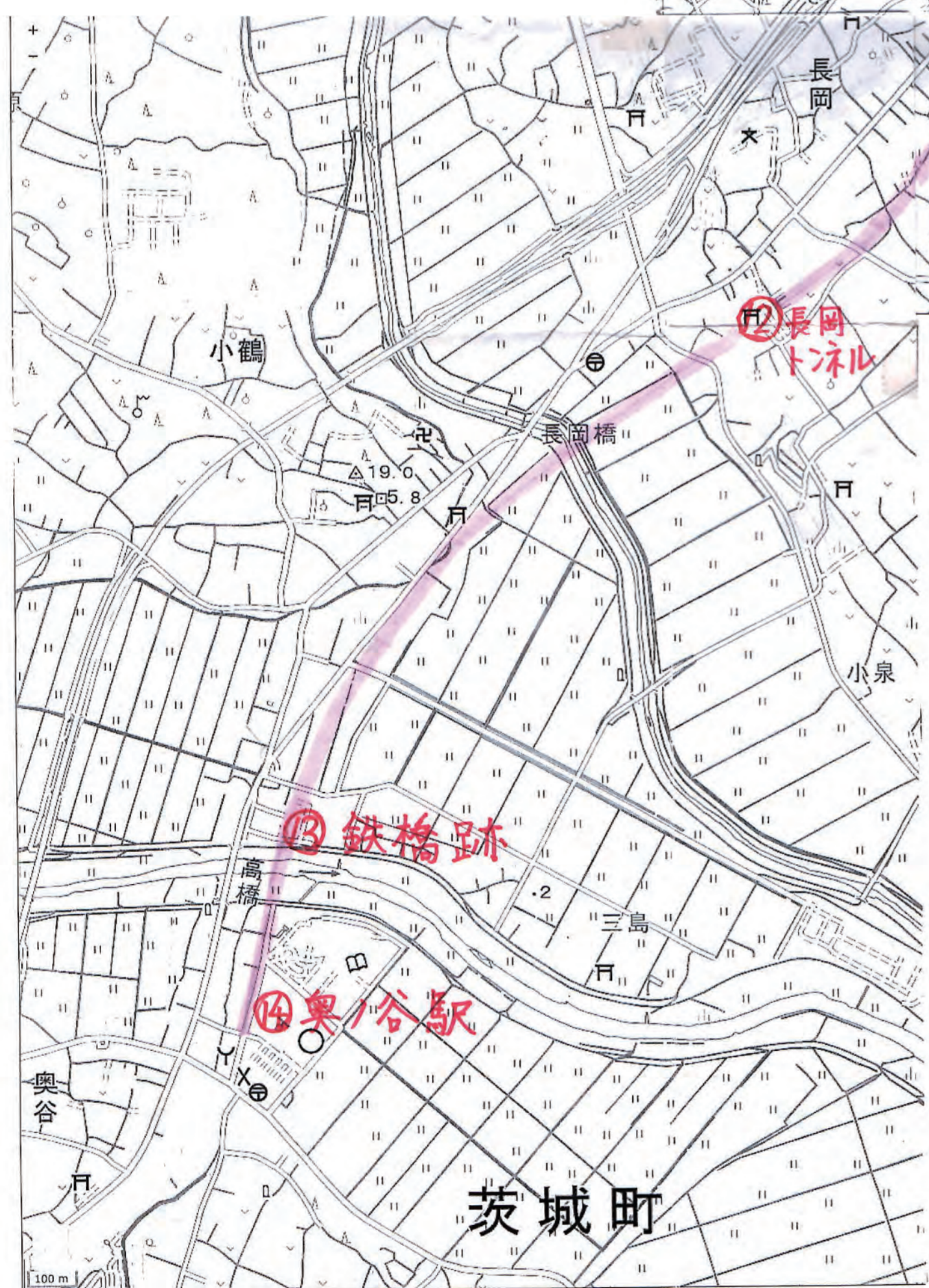
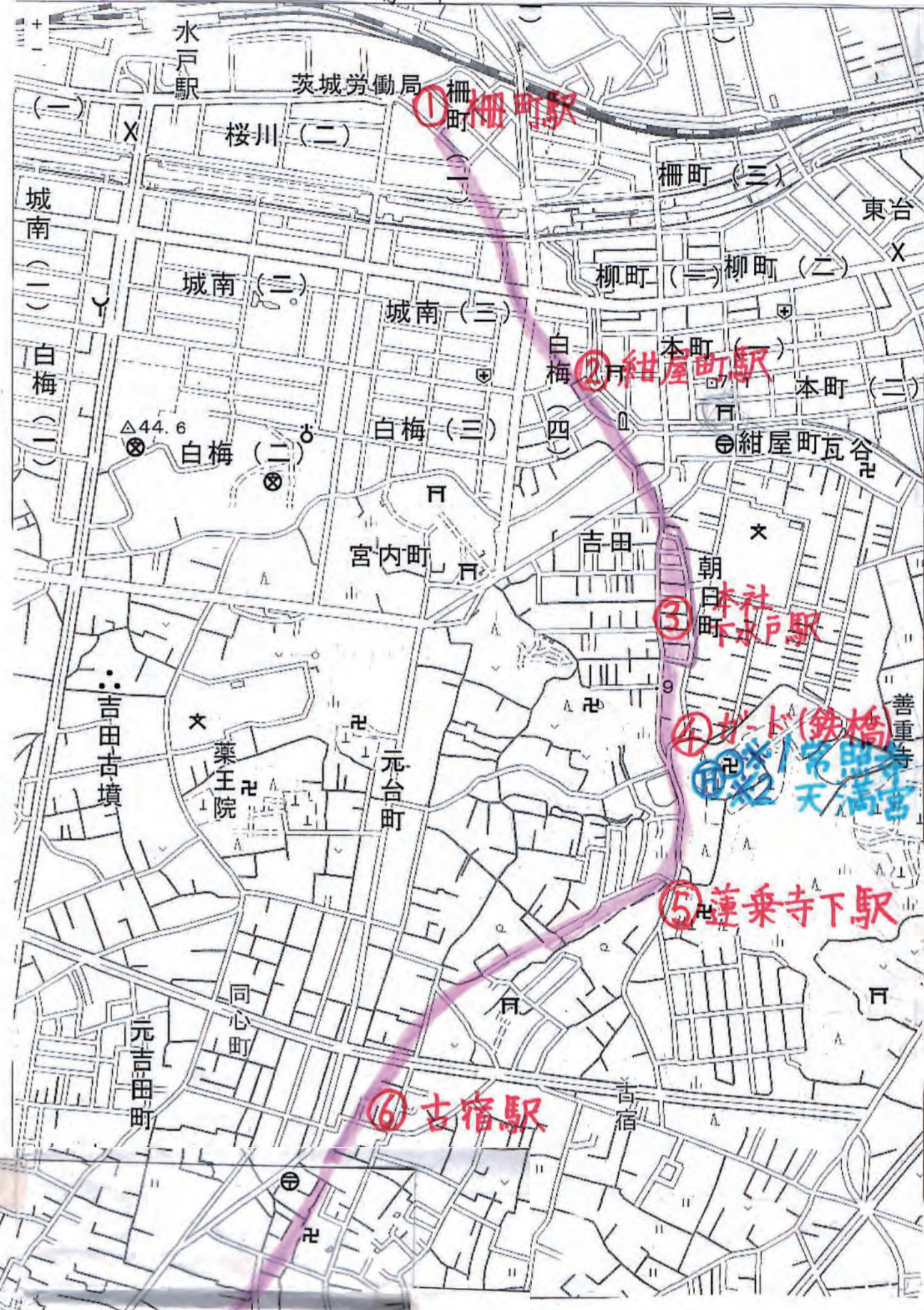
年表

- 昭和2年3月13日 水戸石岡電気鉄道会社設立認可
- 2・7・30 会社設立総会「水戸電気鉄道」と社名変更
- 3・3・25 起工式
- 4・7・18 本社新築開設(朝日町2759番地)
- 4・11・10 開業。下水戸駅ー常陸長岡駅
7.5km 朝5:30~夜11:40
20往復 18銭
- 6・10・1 紺屋町駅ー柵町駅まで延長開通
- 8・12・30 長岡ー小鶴駅間延長開通
- 9・11・1 終点となる奥ノ谷駅まで開通。11.2kmとなる
- 12・2 営業を休止
- 13・11・29 営業廃止認可
茨城鉄道に譲渡



下水戸駅から常陸長岡駅までの7.5キロで開業
20分 運ちん18銭、1日20往復
のちに紺屋町駅や柵町駅
南は小づる駅から奥ノ谷駅
まで11.2キロまでえん長された。

様式1 ①確認してきた場所



① 柵町駅 (始発)



駅は水戸駅からかなりはなれた場所に設けられた。資金不足から常ばん線をこえることができなかった。

〈私の一言〉

建物やちゅう車場にならなっていて、駅があった感じがしなかった。



② 紺屋町駅

金比ら神社の横に紺屋町会館をみつけることができた。建物は鉄道あと地に建設されたもので、会館付近が駅。

〈私の一言〉

場所がはっきりしていたので、さがしやすかった。



③ 本社・下水戸駅



開業時の起点。
今の水戸三中の西側
(朝日町2759番地
1~98)には、本社
と下水戸駅の建物
や改札口、車庫、
回転機、ホームが
できた。

朝日町2759番地
1~98



※1 常照寺



常照寺うらの天神山の一部をけずってトロッコで運んで、中沢田んぼをうめたてて、線路をひいた。

※2 天満宮



昭和4年鉄道のために東に移動。記念の石ひがある。



<私の一言>

朝日町の住たくがならんでいる広い場所に本社や下水戸駅があったことが分かって、その広さにびっくりした。常照寺と天満宮だったところも線路をひく工事に関係していたことも分かった。

④ ガード(鉄橋)



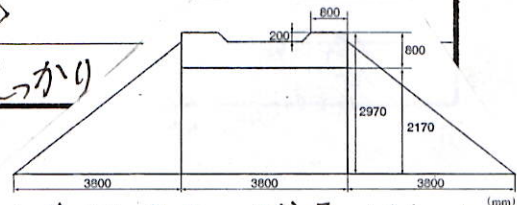
大ぬきつけ物食品のしき地うらにガードあとが残る。



鉄橋の土台

<私の一言>

ガードあとがしっかり残っていたのに、木がしげっていて残念だった。



しき地うらに残るガードあと

⑤ 蓮乗寺下駅



駅は蓮乗寺のちゅう車場となり、同名のバス停がある。

〈私の一言〉

ちゅう車場のところが馬尺だったというのが想像できた。

⑥ 古宿駅

住たくが建てられていて、駅あとは全くない。

〈私の一言〉

犬の散歩で通っているところだったので、馬尺があったと知ってびっくりした。



⑦ 石川川鉄橋(吉田小学校うら) ⑧ 石川川鉄橋(一里塚)



石川川に小さな鉄橋を2つかける工事が吉田小学校の近所ではじまった。古宿駅と一里塚駅のと中で吉田小学校をじゅうだんし、その北側



に路ばんに沿った土地のきょう界線が数十メートル確認できる。写真⑨(石川川鉄橋)は、取りこわしをまぬがれたと思われる石川川の橋台が残っている。

〈私の一言〉

吉田小学校のうらは用水路ではなく、鉄道の鉄橋のあとだと知り、改めて吉田小学校はれきしのある学校なのだなと感じた。写真⑨石川川の橋台がきれいに残っていて、これからもこのまま残しておいてほしいなと思った。

⑧ 一里塚駅

現在の理はつ店付近。古宿駅と同じように住たくが建てられている。

〈私の一言〉

ここも犬の散歩で通ったことがあって、鉄道がひかれていたところを私も通っていたんだなと思った。



⑩ 矢頭駅

北関東道IC付近にある矢頭バス停あたり。

〈私の一言〉

わき道が広くなっていたので、鉄道が通っていたあとなのかなと思った。





① 常陸長岡駅

水戸街道(旧長岡)

十字路を東へ200m、畑の中を北へ70mのところ、プラットフォームが残っている。高さ1.2m長さ30m、水戸電気鉄道最大のあとが残っている。

〈私の一言〉

見ただけでプラットフォームだとわかるもの、残っていて、ワクワクした。プラットフォームの上に立って、ここを電車が走っていたんだなと実感した。

② 長岡トンネル



開業時の終点。高岡神社境内の下にうめられている。

〈私の一言〉

トンネルは境内の下にうめられてしまっていて、鉄道のあとは全くなかった。



③ 鉄橋あと

橋台が民家のへいの一部として残される。今はない小づる川の橋台あと。

〈私の一言〉

大きな橋台がきれいに残っていて、ここに鉄橋があったことが分かった。



④ 奥ノ谷駅(終点)



駅のあった場所は茨城町役場のちゅう車場になっている。当初の計画地、石岡へのえんしん工事にも着手していたが、資金不足により工事は中と半ばなままで中止となってしまった。

〈私の一言〉

柵町の始発から終点奥ノ谷駅までこれることができてよかった。

4. 研究して分かったこと(まとめ)

昭和2年に会社ができて、昭和13年に会社がなくなってしまう。水戸電気鉄道は短い期間で終わってしまったことが分かった。水戸電気鉄道が通っていたあとをさがしてみても、橋台やプラットフォーム、駅があった場所を見つけることができた。駅や線路が通っていたところは住たくやちゅう車場、道路などになっていて、電車がなくなってしまったあと、長い時間がたつてうもれてしまったことを感じた。鉄道をひく工事はトロッコが使われていて、今のように工事用の車両がない時に作業するのはとても大変なことだったと思う。本、インターネット、地図などで調べたところをたどると一本の鉄道のあとになって水戸電気鉄道の路線やれきしを知ることができた。

5. 感想

本や地図で調べて実際に行ってみたら、その時とはちがう風景になってしまっていたのでさがすのが大変だった。吉田小学校の校庭の真ん中を通っていたことも分かってびっくりした。

〈参考文献〉

吉田の今と昔、ウェブサイト(水戸電気鉄道を訪ねて、廃線たんさく水戸電気鉄道)、地図(ゼンリン、国土地理院)